

新年度のはじまりです

いよいよ2度目の東京五輪がはじまります。

新型コロナウイルスの感染が収まらず、海外からの一般客は受け入れないあたらしい形の開催を求められます。

変化を受け止めながら、今に合ったあたらしい五輪を世界に届けることができるのか、わたしたちスポーツ愛好家の力が試されます。

3月5日、世界的若手ピアニスト辻井伸行さんが、和歌山でその感動的な演奏を披露してくれました。

辻井さんは全盲ですが、ベートーベンやリストが求めて止まなかった音色（おんしよく）の世界を見事にわたしたちの前に届けてくれます。

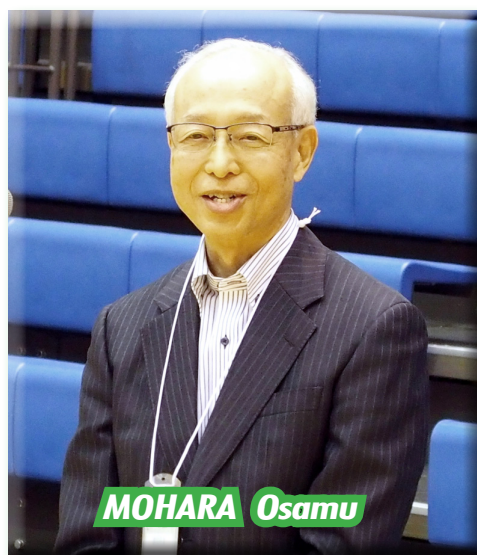
どんな障害も、どんな困難も、わたしたちは越えることができます。辻井さんの音色に包まれながら実感します。

あなたには、あなたにしかないものがある。
苦しむだけ苦しめば、その先にはあなたしか見えない世界がある。

さあ、見ておいで、
あなたにしか見えない世界を。

逆風が未来を切りひらく。
目は見えなくても、耳澄ませ、こころを澄ませ、未来へのメッセージを世界に届けよう。

きょうのわたしたちに風がふく。
逆風はあるけど、
さあ、わたしたちの力でウイズコロナ五輪の感動を届けよう、
世界へ！



和歌山県卓球協会
会長 茂原 治